

今月号の特集テーマは「薬疹」です。皮膚科では他科からコンサルトされる症例も多く、皮膚科医の実力が試される領域の一つと言えるかもしれません。分子標的薬などの新しい薬剤が開発されると、新たな薬剤性皮膚障害も生じ、常に知識のアップデートが必要な領域でもあります。本号では10編の症例報告が掲載されています。日常診療に是非お役立ていただければ幸いです。

編集後記では新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の現況についても記載してきました。しばらく状況は落ち着いていましたが、最近（8月7日現在）はまた感染者が増えているようで、第11波の到来と言われています。KP.3株が主のようで、感染力は強いようですが、重症化は少ないようです。5類移行後も基本的な感染対策は（特に病院内では）必要と言えるでしょう。

ところで、研究者の業績を評価する方法の一つとしてh-indexというものがあるのをご存じでしょうか？ 恥ずかしながら私はよく知らなかったのので、先日インターネットで調べてみました。以下は、SOUBUN.COMという学会運営支援サービスを行っている会社の『研究者の貢献度を示す「h-index」の調べ方と目安』という記事(<https://www.soubun.com/journal/研究者の貢献度を示す「h-index」の調べ方と目安/>)を参考にした記載になります。h-index（h指数）とは研究成果を定量化する指標の一つで、「発表した（英語）論文のうち、被引用数がh回以上ある論文がh本以上ある場合、これを満たす数値hがその研究者のh-index」となります。例えば、10回以上引用されている論文が10本以上ある場合、h-indexの値は10になります。この数値が高いほど研究分野への貢献度が高いと評価されます。h-indexは論文の質と量の両方を定量化した数値で、質・量ともにバランスよく高い研究者の数値は高くなります。もちろん、h-indexは一つの目安に過ぎず、長く研究している人のほうが数値は高くなるなど問題点もあります。このため、対象論文を直近5年間に限定するh5-indexという指標が使われることもあります。実際には、「Google Scholar」(<https://scholar.google.com/>)にアクセスすることで簡単に計算できます。詳細は前出のサイトをご参照ください。今まで自分が書いた個々の英語論文がどの位引用されているかがわかり参考になります。

（佐伯秀久）

— 顧 問 —

大原 國章 大塚 藤男

— 編集委員 —

土田 哲也 五十嵐敦之 相馬 良直 林 伸和 佐伯 秀久

「皮膚科の臨床」第66巻 第10号 9月号

2024年9月1日発行（毎月1回1日発行）
定価 3,300 円（本体 3,000 円＋税 10%）

年間購読料金
定価 50,160 円（本体 45,600 円＋税 10%）
〔年間13冊（臨時増刊号、増大号を含む）の誌代〕
〔年間予約購読者に限り送料無料〕

発行所 金原出版株式会社

発行者 福村 直樹

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14

TEL 03(3811) 7165〔編集室直通〕

TEL 03(3811) 7184〔営業部直通〕

FAX 03(3813) 0288

ホームページ www.kanehara-shuppan.co.jp

振替口座 00130-1-191269

印刷所 三報社印刷株式会社 TEL 03(3637)0005

広告申込先 (株)文京メディカル TEL 03(3817)8036

- ・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著作者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

・**JCOPY**＜出版者著作権管理機構 委託出版物＞

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（TEL：03-5244-5088、FAX：03-5244-5089、E-mail：info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。